年間授業計画

墨田工科高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学B

単位数: 2 単位 教 科: 数学 科 目: 数学B

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 5 組

教科担当者: (実教出版 高校数学B

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 数学の基礎知識や基礎計算力が身に付いており、基本的な問題が解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 応用問題、やや難しい問題が解け、数学的な考え方をすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 提出物を指定された通りの内容で期限内提出ができ、授業に熱心に取り組んでいる。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】		
各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 。	問題が解け、応用問題をきちんと式を書いて解け、	授業中や考査前の課題プリントを正しく解答されて おり、指定された通りの内容で期限内に提出されて いる。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	数列の意味を理解する。 一般項をnの式で表せる。 等差数列の意味を理解し、規則性を見 つける。	1章 数列 1節 数列とその和 1、数列と一般項 2、等差数列	・簡単な数列から一般項を求められる。 ・一般項から数列の具体的な項を求められる。 ・等差数列の初項と公差を求められる。		0	0	7
	等差数列の一般項をnの式で表す。 等差数列の和の公式の成立を理解し活 用する。 自然数の和を数列の和で表す。		・与えられた条件から等差数列の一般項を求められる。 ・等差数列の和の公式を利用して和を求められる。 。 ・自然数の和を等差数列の和を用いて求められる。		0	0	8
	定期考査	定期考査		0			1
1 学期	等比数列の意味を理解し、規則性を見つける。 等比数列の一般項をnの式で表す。	3、等比数列	・等比数列の初項を公比を求められる。 ・与えられた条件から等比数列の一般項を求めら れる。		0	0	7
	等比数列の和の公式の成立を理解し活用する。 等差数列・等比数列の基礎演習(復習)		・等比数列の和の公式を利用して和を求められる。 ・等差数列と等比数列について基礎事項問題が解ける。		0	0	8
	定期考査	定期往査		0			1

	和を表す記号 Σ の意味を理解し具体的な数列の和を表せる。 Σ の性質を理解し活用する。 自然数の和・自然数の 2 乗の和を Σ を 用いて表す。	2節 いろいろな数列 1、和を表す記号	 Σを使って数列の和を表せる。 Σの性質を用いて数列の和を求められる。 Σの式で与えられた自然数の和、自然数の2乗の和を求められる。 		0	0	7
	いろいろな数列の和 階差数列の意味を理解し見つける。 階差数列の一般項を数列の和を用いて 表す。 と階差数列の基礎演習(復習)	2、階差數列	・数列の階差数列を見つけられる。 ・階差数列から、もとの数列の一般項を求められる。		0	0	8
2	定期考査	定期考査		0			1
学期	漸化式の意味を理解し活用する。 An+1=Pan+Qの漸化式の基本形を扱え る。 漸化式の基礎演習(復習)	3節 漸化式と数学的帰納法 1、漸化式	・漸化式から数列の各項を求められる。 ・漸化式を用いて数列の一般項を求められる。		0	0	6
	事象と確率の意味を理解し活用する。 いろいろな状況下の確率を求められる ようにする。	2章 統計的な推測 1節 確率変数と確率分布 1、確率とその基本性質 2、いろいろな確率	・事象、試行などの意味を理解している。 ・与えられた条件から、排反事象や余事象などを 利用して確率を求められる。		0	0	7
	定期考査	定期考査		0			1

	確率分布の意味を理解し、表などを作成して活用する。 確率変数の平均・分散を求める。	2 節 確率変数と確率分布 1、確率変数と確率分布 2、確率変数の平均 3、確率変数の分散	・確率変数を用いて表を利用して確率分布を表せる。 ・具体的な状況下の確率分布を表し、答を導ける。 ・期待値(平均)の意味を理解し求められる。 ・分散の意味を理解し求められる。		0	0	7
3 学期	定期考査	定期考査					
		70,7,52		0			1
							合計
						70	